

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.11

令和6年12月23日

市川市立第八中学校
校長 川野辺 修

空を見上げる

今日で長い2学期が終わり、明日から冬休みになります。鶴風祭や校外学習など、いろいろな行事があった2学期でしたが、どうでしたか？個人やクラス、また学年集会等で振り返りをしたことと思いますが、今回の学校だよりでは、八中生のみなさんにこの冬休みの過ごし方について少し提案させていただければと思います。

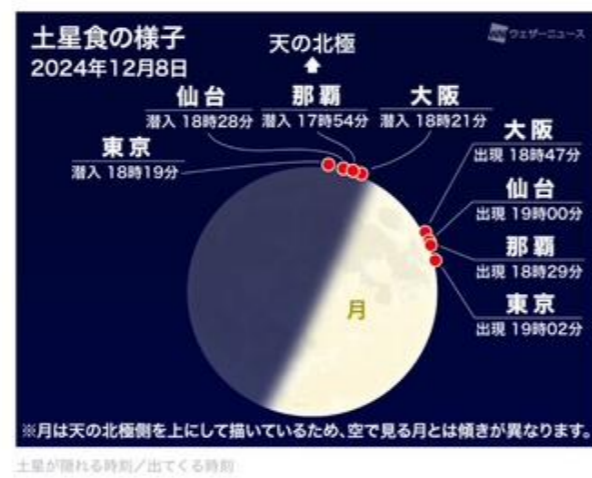
12月8日18時頃～19時頃にかけて、上弦直前の月が土星を隠す「土星食」という現象が起きていたこと、ご存じだったでしょうか？(右の画像はウェザーニュースのホームページから抜粋した画像です。)

私は自宅2階のベランダから双眼鏡で観察しました。小さな土星が月の裏側に隠れる様子と、日ごろ何となくしか見ていなかった月のクレーターまでじっくり観察することができました。

せっかくなので星についてのトピックをもう一つ。明後日12月25日の未明には、今度はおとめ座の1等星スピカが月に隠れる「スピカ食」という現象が起こるそうです。ただし、スピカは月よりも大きい1等星でありながら非常に遠方にあるために、肉眼では見えづらいとのことですが…。

冬は寒くて朝起きるのがつらかったり、外に出るのがおっくうになってしまったりする時期かと思います。一方で空気は乾燥し、夜空の星や遠くの景色がよく見える季節でもあります。実際に学校ホームページのブログでは、4階から見える富士山の眺望を先日紹介しました。また、京成線菅野駅の陸橋からは朝、北の方向に筑波山がよく観えます。

土星食はどう見える？



そんな眺めの良い季節ですが、寒くて背中を丸めていると、つついスマホを見る時間が長くなってしまい、視線が下がり姿勢が悪くなってしまっています。皆さんどうですか？

そこで、空気がきれいなこの冬休みだからこそ、意識して視線を上に向ける努力をしてみてもはどうでしょうか？夜空の星を眺めるもよし、遥か遠くの富士山を見るのもよし。

また、実際の目線だけではなく、心の視線を意識的に上に向けてみるのはどうでしょうか？日ごろじっくり目を通していない新聞を読んで、他の地域や他の国のことについて深く考えてみたり、日ごろどっぷり浸れなかった読書にひたり、自分とは違う考えや思いに触れてみたり。また、この年末年始はスポーツの大きな大会もいくつか行われます。自分とは違う分野で頑張っている人を応援することも、視線を上げる一つのきっかけになるでしょう。

空を眺めると視野だけでなく、心も穏やかになります。私の自宅の近所には、高い建物がなくて空一面を広く見渡せる場所があります。そこは私のお気に入りの場所で、休日の散歩コースになっています。立ち止まって空を見渡すと、この広い世界における自分の存在を再認識することができ、自分の悩みがほんの些細なことと感じられ、大らかな気持ちになれます。

せっかくの冬休みです。一度でいいのでぜひ、空気の澄んだ空に目を向けてみてください。1月6日の始業式に元気な姿でお会いできるのを楽しみにしています。

では、健康で有意義な冬休みをお過ごしください。



保護者の皆様へ

今学期も様々な面で学校に対するご理解とご協力、ありがとうございました。本日の終業式の中で、今学期における表彰を行いました。各部や各取組における努力の成果ですので、1月の学校だよりで紹介させていただきたいと思います。

令和7年も、どうぞよろしくお願いいたします。

八中のホームページでは日々の様子をブログで紹介しております。
右のQRコードを読み取り、ご覧ください。

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai8-chu/>

